

6月16日	一般質問	7月 1日	県内小学校跡地再活用例視察
17日	"	5日	川口啓介議会報告会
18日	"	7日	川越市議会広報紙検討委員会
19日	"	9日	環境審議会
20日	" (川口啓介登壇)	13日	伊佐沼周辺ゴミ拾い / 古谷神社天王様
21日	東洋大学講演会	15日	市庁舎建設特別委員会
23日	6月議会 文教常任委員会		— ここからは予定です —
25日	代表者会議 / 図書室委員会	20日	古谷東小スポーツ大会 / 古谷小ドッチボール大会
27日	6月議会閉会日	23日	環境審議会
29日	古谷地区各種団体合同視察研修		
30日	"		

第5回川口けいすけ議会報告会

7月5日(土) 13時半から5回目の議会報告会をいつもと同じ古谷公民館で開催しました。今回も私の一般質問についてお話した後、今議会での出来事をご説明しました。さらに、今回初めて領収書を公開することになった政務調査費についてもお話ししました。

その他、学校統合問題・耐震化・市庁舎移転問題など、ご参加の皆様からも多くのご意見、ご質問を頂き、大変実のある報告会となりました。



和やかな雰囲気の中、多くの質問やご意見をいただきました。

シリーズ環境問題 ⑤・・・グローバル経済



環境問題と題して経済？と、お思いの方もいらっしゃるでしょうか。しかし、経済問題は環境問題とまさに繋がっているのです。グローバル経済は人々に、特に先進国の人々に大きな恩恵をもたらしました。しかし、近年グローバル経済の負の部分とも言うべき、多くの問題点が指摘されています。2006年の経済産業省の資料でも、『グローバル経済の進展は、資源エネルギーの消費増大、価格上昇、地球環境問題の深刻化、テロや感染症等の安全保障問題、貧困問題等人類共通の課題を深刻化させている』と指摘しています。

たしかに、グローバル化は競争原理に基づく市場経済化を促進させました。結果として貧富の差はどんどん広がっており、「市場原理主義」という言葉や「グローバル化の問題は強いものがゲームのルールを決める。」

そのルールは豊かな者の味方で貧しい者の味方ではない。」「グローバル化現象とはすなわちアメリカ化だ」といった批判が広がりつつあります。そのアメリカ内部でもサブプライム問題発生以降、これまでになくグローバル化への疑念、批判が強まる傾向にあるそうです。

今起きている環境問題は経済活動のために地球の資源をむさぼるようになり取り尽くしていった結果です。たいていの場合、途上国の人々は先進国の人々のための生産者となり、私たちが消費者となっています。その経済活動を一握りの国や多国籍企業等が主導し、市場経済の名の下で左記のような多くの問題を生み出してきたのです。

結局、今の私たちの生活(ライフスタイル)こそが、環境問題を引き起こしたと言えるのです。

(次回はフェアトレードについて)